
お金は天下の回り物

パリジェンヌ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お金は天下の回り物

【著者名】

パリジエヌ

N8208P

【あらすじ】

卒業制作小説
テーマ「罪の告白」

(前書き)

卒業制作小説
テーマ「罪の告白」

”お金は天下の回り物”といふことわざがある

”金銭は一か所にばかりどまつてゐるものではなく、常に世の中を巡つてゐる。

今はお金がなくともいつか手に入れたり、今持つてゐる者もいつか失つたりする。”という意味だ

今日はある少年の罪を通してこのことわざを掘り下げようと思つ

先日の大雪が嘘のように晴れた本日

白鳩高校の生徒、薄井直哉は寒さに震えながらも放課後、家へと歩みを進めていた

「マジ寒すぎだろ、なあ？」

薄井は一緒に歩いている親友、直木太志へ声をかけた

「そうか？俺は余裕だけど」

直木は何といふか・・・いわゆるデブといふやつだ

「この時期になるとお前が羨ま・・・ん？」

薄井は足元にふと黒い物体を見つけて立ち止まつた

「寒いなら止まるなよ」

直木がせかすと薄井は興奮したような声をあげた

「おいこれ財布じゃねーか！ラッキー！」

薄井は財布を拾い上げると勢いよくそれを開け放つた

「おお！一万も入つてんじやん！」

直木が歎声を上げる

「よし！ゲーセン行こうぜ！なあに俺の奢りだ！」

「よっしゃあ！」

こうして一人は目的地を家からゲームセンターへ変更すると寒さも忘れ再び歩き出した

この場合、善人なら交番に届けるが、罪深い彼は自分の物にしてしまつた

お金はこのよつたに望まれない形で世の中を巡ることもあるのだと、このお金の持ち主だが、それを説明するには20ほど時を戻さなければならぬ

深夜、終電に乗り遅れ徒歩で帰路についている冴えない中年サラリーマンがいた

彼の名は中村希

寒さと寂しさを紛らわせるためか独りでに愚痴がこぼれる

「森間の野郎、何が残業だ、ふざけやがって」

森間和也は彼の上司だ

「毎日毎日こいつ残業で帰りが遅いんじゃ、やつてられないよ
ようやく我が家へと辿り着いた希は震える手でポケットをまさぐり
鍵を取り出すとやつとの思いいでドアを開けた

「ただいま」

言つてはみたものの家は静まり返つている

彼・・・希には妻子がいる

妻の熊子と娘の美乃流だ

熊子は既に寝てゐるようだが、美乃流の部屋はまだ電気がついていた
こんな夜遅くに何をやつてゐるのだろう

希は声をかけよつとしたが思いどもつた

中学生の美乃流はいわゆる反抗期といつやつらじく、父親は邪魔者扱いなのだ

ふとカレンダーを見ると明日の日付に丸がつけてあつた

「そういうえば明日は俺の誕生日か、すっかり忘れてたよ」

今年もどうせ一人寂しく会社の帰りに自分で自分のケーキを買って
帰るんだろうな

そんなことを思つた希は、唯一虚しさを忘れられる睡眠をとるために、やつて風呂と食事を済ませると寝室へ向つた

翌日

「おはよ」

希は食卓へいくと既に朝食をとつてゐる美乃流に言つた

「おはよー」

しかし返答したのは娘の実ではなく妻の熊子だった
当の美乃流はまるで聞こえなかつたかのようにな黙々と朝食を食べ続
けていた

「いただきまーす」

希はそういうとサラダをつついた

「いっつてきます、お母さん」

美乃流はまるで父親への当てつけのように語尾にお母さん、といふ
単語をつけると鞄を掴み家を飛び出した

「まつたく、今日くらい氣を使ってほしこよ」

希は咳き、直後に驚愕した

「え？ 今日なにがあるの？」

妻の熊子は平然と言い放ったのだ

今日は夫である希の誕生日、それを忘れていたのだ

「あえ、いや、別に・・・」

「そんなことより、最近あなた風邪引いてるみたいだけど氣をつけ・
・・・」

希は熊子の言葉など頭に入つてこなかつた

出社してからも希の頭は、俺の存在とは一体何なのか、このテーマ
でいっぱいだつた

希は、もう数十年サラリーマンをやつしているが、やり手といつわけ
ではない

そんな彼にこのような重苦しいテーマが課せられてしまつた日には

仕事が手につくはずがない

いつも以上にミスが重なり、いつも以上に上司の森間に怒鳴られ彼
は完全に気力を失つていた

「誕生日なのに・・・何でこんな・・・」

昼休み、希はいつものように弁当を食べようと鞄をあさつた
しかし、ブツは見あたらなかつた

妻の言葉に気を取られ弁当を入れ忘れていたのだ

「くそ・・・」

うなだれた希にさりに追い打ちが掛けられた
上司の森間から今日も残業を頼まれたのだ
今日くらい断れり、頭の中ではそう思つても口に出せるわけがなか
つた

この世界は上司に逆らつたらそれが最期だからだ
窓の外を見ると雪が降り始めていた

「やつと終わった・・・」

残業を終わらせた希は伸びをすると田頭を押さえた
ふと時計を見ると既に九時を回っていた

「しまつた！」

慌てた希は急いで退社すると商店街へと向かつた
「遅かったか・・・」

目的地のケーキ屋は既に閉店していた

「あ、あれ？」

ふとポケットに手をやるとそこにあるはずの財布の感触がない
希は慌てて全身はもぢろん、鞄の中も調べたが財布は見つからなか
つた

「どつちにしろ買えなかつたつてわけか、はは・・・」

唯一の楽しみだったケーキをえ買えず、財布まで落とした希は肩を
落とし駅へと歩き出した

降り注ぐ雪とその寒さが身に沁みた

「ただいま」

言つてはみたものの家は静まり返つている

まあいつものことさ

さつせと飯と風呂を済ませて寝よつ

それから会社に行つて、同じことを繰り返すんだ

それが俺の存在理由だ

希がリビングへ入り電気をつけた

その瞬間だった

『ハッピーバースデー！！』

パンパンッ

クラッカーが鳴り響き、紙吹雪とキラキラ輝くテープが希へ頭上から降り注いだ

「え」

啞然とする希の前には妻の熊子と娘の美乃流がいた

「誕生日おめでとう、あなた」

妻の熊子が頬にキスをする

「おめでと、お父さん」

そう言つた美乃流が差し出した手にはマフラーが乗つていた

「あなた最近風邪引いてるみたいだから、気をつけるようについて、毎日夜遅くまで編んでいたのよ」

熊子が美乃流の頭を撫でる

「ち、ちょっと…お母さん！それ言わない約束でしょ…」

美乃流は照れ隠しなのか軽くうつむきながら言つた

「ほ、ほら、受け取つてよ」

「あ、ありがとう」

希はそれを受け取ると、口み上げる何かを押し殺し礼を言つた

「みて」

それから熊子がテーブルの上を指差した

「二人で作ったのよ」

そこには”おたんじょうびおめでとう”と書かれたプレートが乗つている特大ケーキがあった

「ほら、早く食べよ」

美乃流はそういうと熊子と共に席についた

「ああ、・・・ありがとう」

再びそう言つた希は目頭が熱くなるのを感じた

そして悟つた、俺は家族を幸せにするために存在しているんだ、と

希は目頭だけでなく心も温まつたような気がした

財布を拾つた一人の高校生はゲーセンへ辿り着いた

「ゲーセン飽きたら飯食うか！」

直木がスキップをしながら叫んだ

「いいねえ！今日はパーティーだぜ！」

薄井もノリノリのようだ

「さて、今日はどのゲームから・・・」

薄井がゲームの品定めを始めたその時だつた後ろから一人を呼ぶ声がした

「おう、ノッポとデブじゃねえか」

二人が振り返るとそこには同じクラスのヤンキー、高山剣がいた
ノッポは薄井、デブはもちろん直木のことだ

「あ、高山君、偶然だね」

直木が引きつった表情で応答する

「おう、ところどよ、お前ら金持つてねえか？」

高山が直木の胸ぐらを掴む

「ぶひつ・・・うつ薄井がつ」

直木はそう言って薄井を指差す

「おまつ・・・」

薄井は後ずさつた

「ちょっとでいいからよ、貸してくれや」

高山が薄井に詰め寄る

「で、でも今まで貸した分がまだ・・・」

「ああ！？」

「ど、どうぞ」

薄井は高山に財布を差し出した

「おう、一万多持つてんじやねーか、じゃまたな」

高山はそう言つとゲーセンの奥へと消えていった

お金はこのように望まれない形で世の中を巡ることもあるのだ

「お金は天下の回り物」

「金銭は一か所にばかりどびまつているものではなく、常に世の中

を巡っている。

今はお金がなくてもいつか手に入れたり、今持っている者もいつか失つたりする。

”

(後書き)

実際の自分の罪を告白するというテーマで、内容は脚色しても構わないという指示だったが本作はオールファイクションで成り立つている

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8208p/>

お金は天下の回り物

2011年1月4日02時38分発行